

Cisco DSL ルータの設定とトラブルシューティング ガイド - IRB を使用した RFC1483 ブリッジングの実装オプション

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Options](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントは、IRB の実装オプションを使用した RFC 1483 ブリッジングについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Options

Asymmetric Digital Subscriber Line (ADSL ; 非対称デジタル加入者線) サービスに対して、Integrated Routing and Bridging (IRB ; 統合ルーティングおよびブリッジング) 実装オプションを使用して、次のRFC 1483ブリッジングのいずれかを選択します。どちらの実装オプションにも、Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) オーバーロード、NAT プール、スタティック NAT、および Dynamic Host Control Protocol (DHCP; 動的ホスト制御プロト

コル) サーバの設定例が示されています。

- [RFC 1483 IRBオプション1](#) - ISPがCisco DSLルータに単一の動的パブリックIPアドレスを割り当てます。
- [RFC 1483 IRBオプション2](#):ISPがCisco DSLルータに単一のスタティックパブリックIPアドレスを割り当てます。

この設定およびトラブルシューティングガイドの前のセクションに戻ります - [IRBオンラインフォームを使用したRFC 1483ブリッジング](#)。

『Cisco DSL ルータの設定とトラブルシューティング ガイド』の[メインページに戻ります](#)。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)